

米国小型バリューストックファンド Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし) (愛称：アメリカン・エンジェル)

追加型投信 / 海外 / 株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の株式（預託証券（DR）を含みます。）のうち、小型株を中心に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年6月21日～2022年12月19日

第15期	決算日：2022年12月19日
------	-----------------

Aコース (為替ヘッジあり)

第15期末 (2022年12月19日)	基準価額	9,671円
	純資産総額	1,348百万円
第15期	騰落率	3.0%
	分配金合計	0円

Bコース (為替ヘッジなし)

第15期末 (2022年12月19日)	基準価額	10,362円
	純資産総額	27,057百万円
第15期	騰落率	5.8%
	分配金合計	710円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

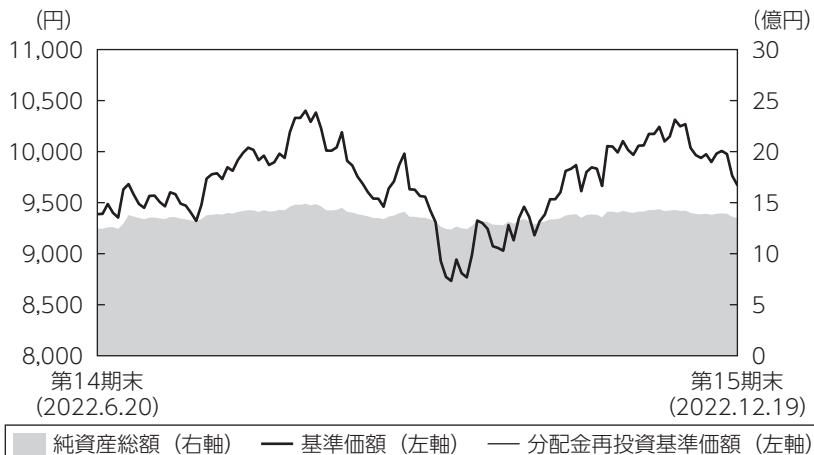
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

■ 基準価額等の推移



第15期首： 9,388円
 第15期末： 9,671円
 （既払分配金0円）
 騰落率： 3.0%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

堅調な企業決算やインフレ率の鈍化がみられたことなどを背景に米国小型バリュー株が上昇したことに加え、資本財セクター、金融セクターでの銘柄選択などが基準価額にプラスに寄与しました。一方、情報技術セクターにおける銘柄選択はマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第15期		項目の概要
	(2022年6月21日 ～2022年12月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	98円	1.009%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,705円です。
(投信会社)	(64)	(0.658)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.329)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	12	0.122	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(11)	(0.111)	
(投資証券)	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(2)	(0.021)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	112	1.154	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

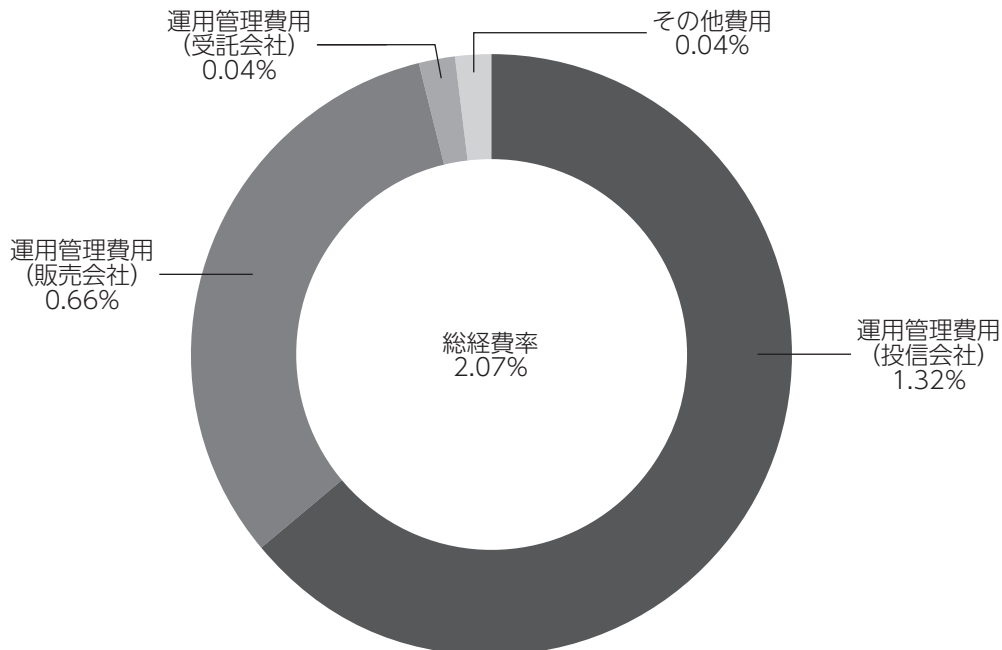
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



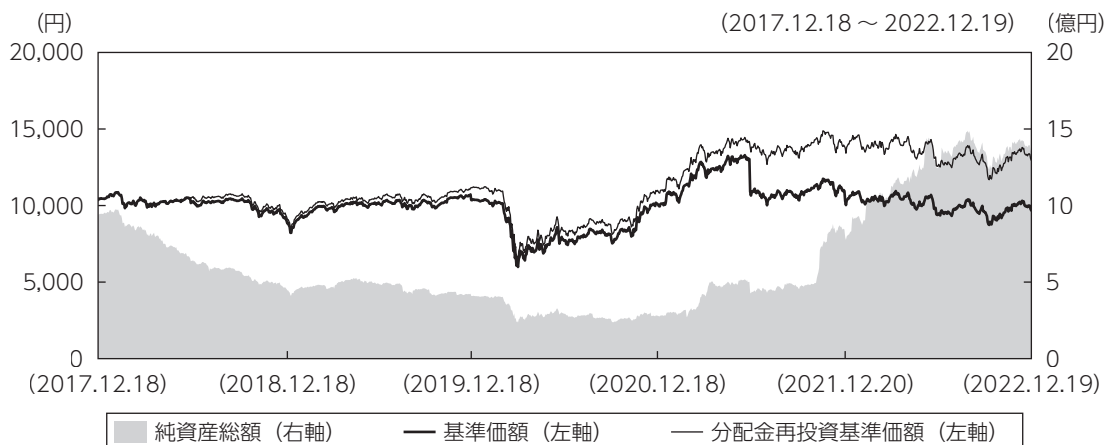
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



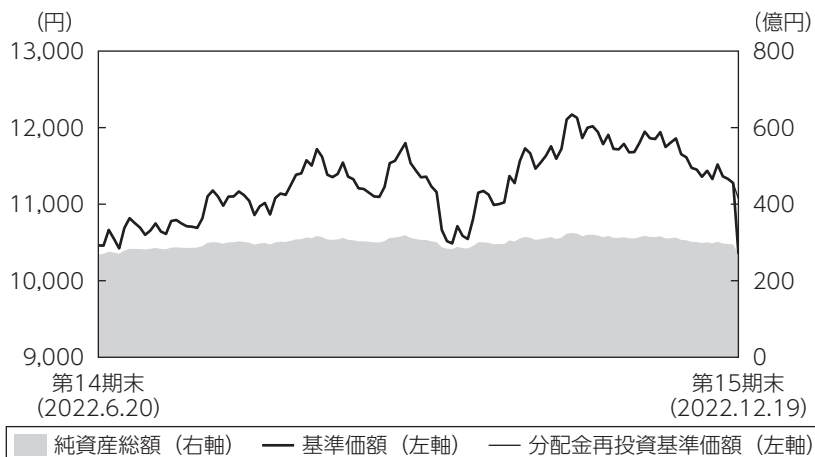
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月18日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年12月18日 期首	2018年12月18日 決算日	2019年12月18日 決算日	2020年12月18日 決算日	2021年12月20日 決算日	2022年12月19日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,358	8,832	10,359	10,110	10,295	9,671
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	300	490	80	2,380	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△12.2	22.9	△1.6	25.3	△6.1
参考指数の騰落率 (%)	—	△12.2	15.6	4.8	23.3	△14.7
純資産総額 (百万円)	932	445	409	280	793	1,348

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はRussell 2000 Valueインデックス配当込み (円ヘッジベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、Russell 2000 Valueインデックス配当込み (米ドルベース) をもとに当社がヘッジコストを考慮し算出したものです。なお、指数の算出にあたっては、基準価額との比較を考慮して前営業日の値を用いています (以下同じ)。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

■ 基準価額等の推移



第15期首： 10,461円
 第15期末： 10,362円
 (既払分配金710円)
 騰落率： 5.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

堅調な企業決算やインフレ率の鈍化がみられたことなどを背景に米国小型バリュー株が上昇したことに加え、資本財セクター、金融セクターでの銘柄選択などが基準価額にプラスに寄与しました。一方、情報技術セクターにおける銘柄選択はマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第15期		項目の概要
	(2022年6月21日 ～2022年12月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	114円	1.009%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,272円です。
(投信会社)	(74)	(0.658)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(37)	(0.329)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	14	0.121	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(12)	(0.110)	
(投資証券)	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.011	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.010)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	129	1.142	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

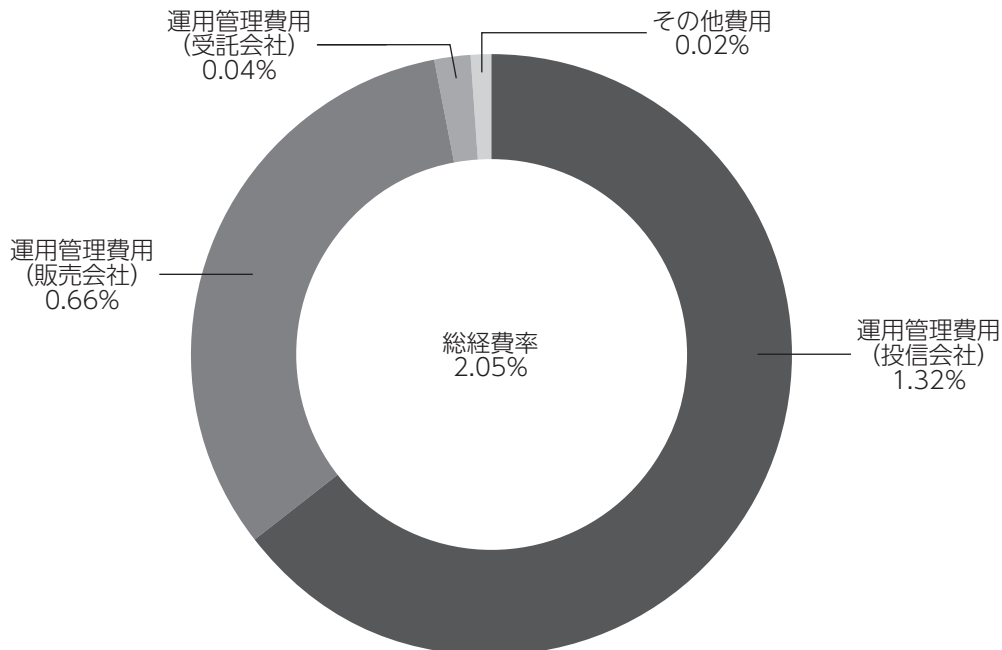
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



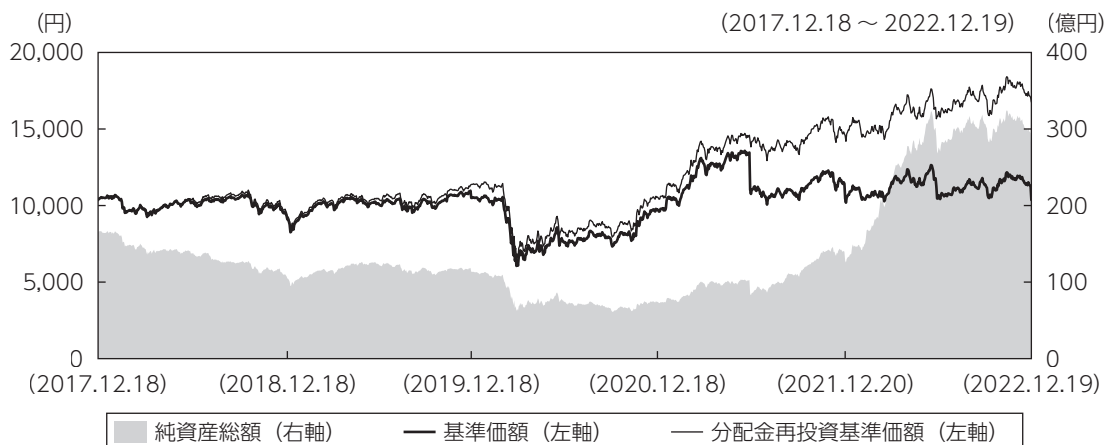
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



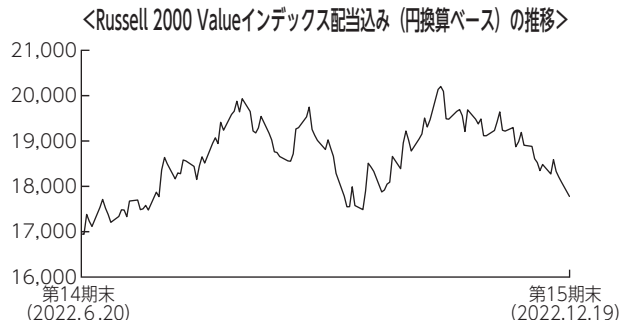
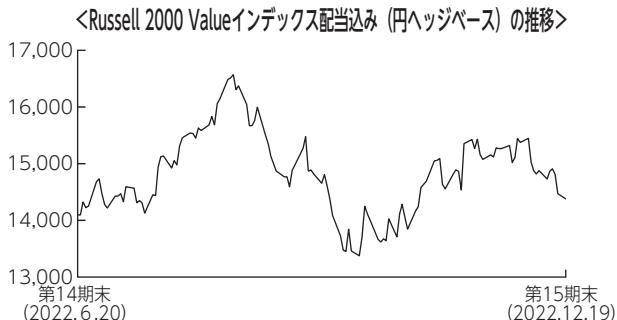
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月18日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年12月18日 期首	2018年12月18日 決算日	2019年12月18日 決算日	2020年12月18日 決算日	2021年12月20日 決算日	2022年12月19日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,359	9,095	10,496	9,744	10,451	10,362
期間分配金合計 (税引前) (円)	-	210	640	0	2,930	1,610
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	△10.4	22.6	△7.2	37.9	15.1
参考指数の騰落率 (%)	-	△10.4	15.0	△0.6	35.9	6.0
純資産総額 (百万円)	16,522	10,475	11,338	7,422	12,780	27,057

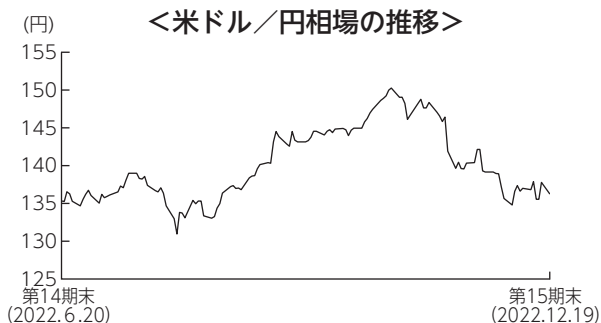
- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はRussell 2000 Valueインデックス配当込み (円換算ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、Russell 2000 Valueインデックス配当込み (米ドルベース) をもとに当社が円換算したものです。なお、指数の算出にあたっては基準価額との比較を考慮して前営業日の指数 (米ドルベース) に当日の米ドル為替レート (対顧客電信相場仲値) で円換算しています (以下同じ)。

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

■ 投資環境



米国小型バリュー株は上昇しました。期首から9月末にかけては、堅調な企業決算や経済指標を背景に上昇する場面もありましたが、FOMC（米連邦公開市場委員会）でのタカ派な見通し発表などを背景に大幅に下落しました。しかしその後、インフレ率の鈍化が見られたことで金融引き締めの緩和期待が高まり、市場は反発しました。期末にかけては、12月FOMCで再びタカ派の見通しが公表され、景気後退懸念から上値が重い相場展開が続きました。



作成期では円安ドル高が小幅に進みました。期前半では高騰する物価抑制のため引き締めを急ぐ米国と緩和を維持する日本の金融政策の違いを背景に、大幅に円安ドル高が進みました。期後半は米国の物価上昇に鈍化傾向がみられたことから利上げペースの緩和観測が広がり、円高ドル安方向に反転し、円の下落幅を縮小しました。

ポートフォリオについて

●米国小型バリューストックファンド Aコース (為替ヘッジあり)

当ファンドの主要投資対象は米国小型バリューストックマザーファンドであり、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いました。

●米国小型バリューストックファンド Bコース (為替ヘッジなし)

当ファンドの主要投資対象は米国小型バリューストックマザーファンドであり、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いませんでした。

●米国小型バリューストックマザーファンド

米国の小型株を主要投資対象とし、優秀な経営陣が株主資本を高収益事業に配分することで利益率を高め、キャッシュフローが着実に拡大しているにもかかわらず、事業価値が過小評価されている企業を選別し、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。上記の運用方針に沿った銘柄への選別投資を行った結果、業種配分については、金融や資本財・サービスへの投資比率が高めとなりました。また、株式組入比率は高位を維持しました。

〔上位5業種〕 (2022年12月19日現在)

順位	業種	比率
1	金融	32.1%
2	資本財・サービス	14.1%
3	不動産	10.7%
4	一般消費財・サービス	9.0%
5	素材	8.6%

〔上位5銘柄〕 (2022年12月19日現在)

順位	銘柄	業種	比率
1	GLOBE LIFE INC	金融	3.8%
2	KEMPER CORP	金融	3.6%
3	PRIMERICA INC	金融	3.6%
4	FEDERATED HERMES INC	金融	3.5%
5	FOUR CORNERS PROPERTY TRUST INC	不動産	3.1%

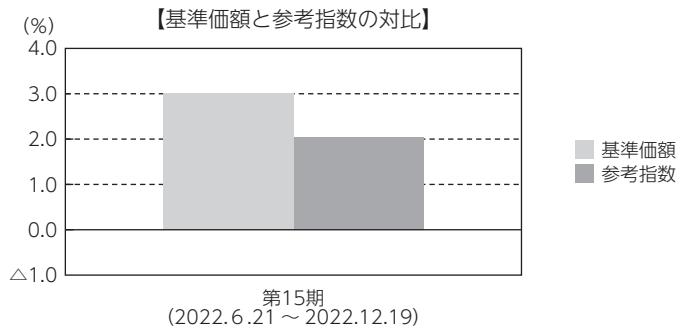
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は、世界産業分類基準 (GICS) の11セクターに基づいて分類しています。

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年6月21日 ～2022年12月19日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	72円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

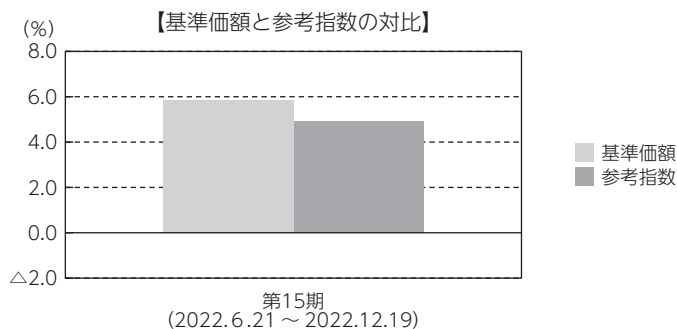
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年6月21日 ～2022年12月19日
当期分配金（税引前）	710円
対基準価額比率	6.41%
当期の収益	586円
当期の収益以外	123円
翌期繰越分配対象額	361円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

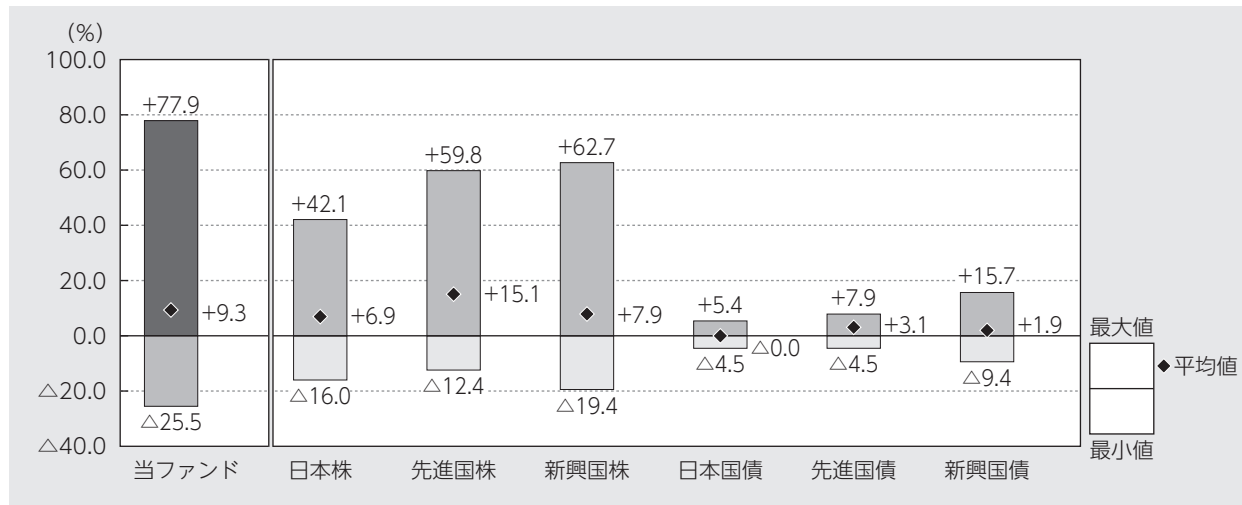
- 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）
当ファンドの運用方針に従い、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行う方針です。
- 米国小型バリュー株ファンド Bコース（為替ヘッジなし）
当ファンドの運用方針に従い、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 米国小型バリュー株マザーファンド
当面は不透明感が漂う相場が続くと想定されますが、中長期的視点に立った徹底したボトムアップ・リサーチに基づき銘柄を厳選し、先行きが不透明な環境下でもリターンを着実に積み上げていくことに注力して参ります。ファンドでは引き続き、下値リスクを管理しつつ、財務基盤が強固で安定的にキャッシュフローを創出できると考える企業に投資を行う方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年7月6日から2025年6月18日までです。	
運用方針	主として、米国の株式（預託証券（DR）を含みます。以下同じ。）のうち、小型株を中心に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国小型バリューストックファンド Aコース（為替ヘッジあり）/ Bコース（為替ヘッジなし）	米国小型バリューストックマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国小型バリューストック マザーファンド	米国の小型株を主要投資対象とします。
運用方法	<p>米国小型バリューストックマザーファンドを通じて米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している株式のうち、小型株を中心に投資を行います。</p> <p>株式への投資にあたっては、企業のキャッシュフローや経営陣の質等を分析のうえ株価が割安と判断される銘柄に投資を行います。</p> <p>組入外貨建資産に対して、Aコースは原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図り、Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>米国小型バリューストックマザーファンドの運用の指図に関する権限の一部（有価証券等の運用の指図に関する権限）をビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年6月18日および12月18日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）



2017年12月～2022年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

* 各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

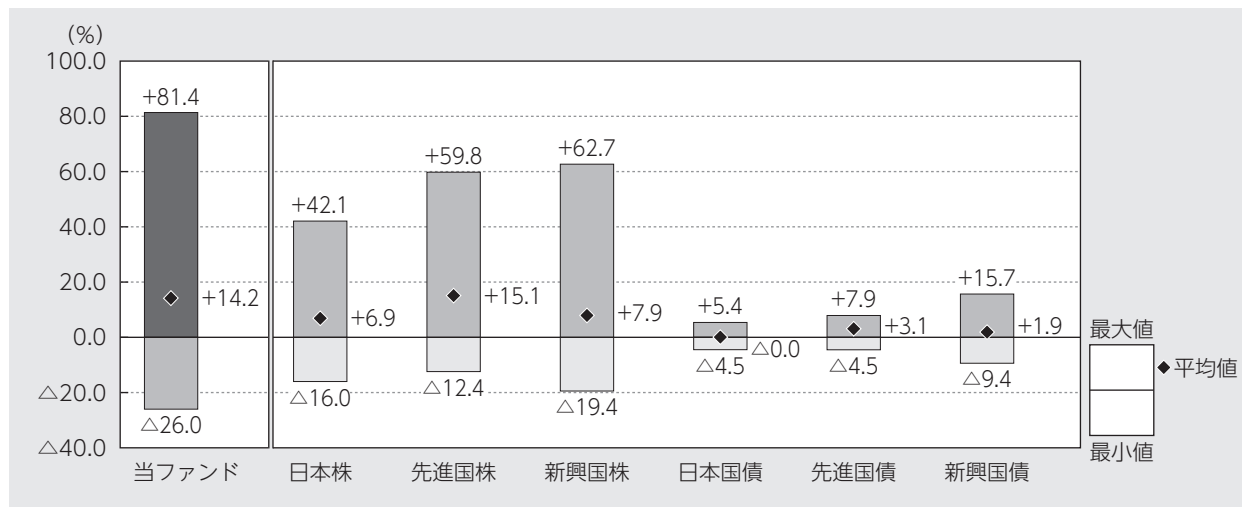
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)



2017年12月～2022年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの組入資産の内容（2022年12月19日現在）

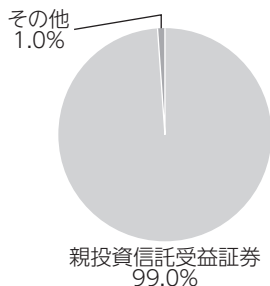
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2022年12月19日
米国小型バリュー株マザーファンド	99.0%
その他	1.0

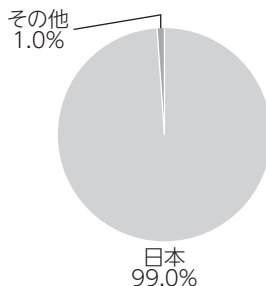
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

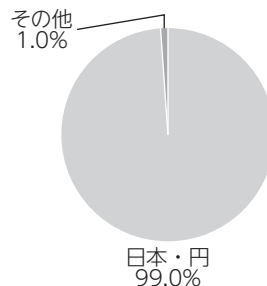
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 当ファンドでは、実質組入外貨建資産に対して、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

純資産等

項目	当期末
	2022年12月19日
純資産総額	1,348,821,333円
受益権総口数	1,394,647,897口
1万口当たり基準価額	9,671円

(注) 当期中における追加設定元本額は154,028,754円、同解約元本額は85,438,693円です。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2022年12月19日現在)

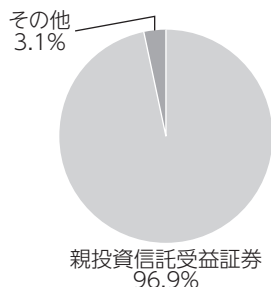
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2022年12月19日
米国小型バリュー株マザーファンド	96.9%
その他	3.1

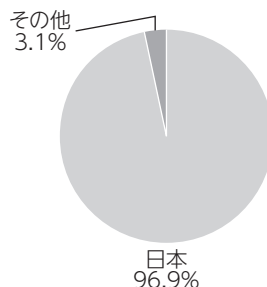
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

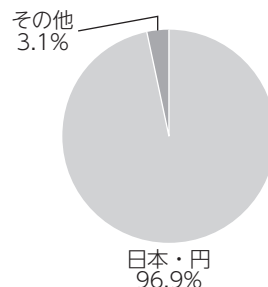
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

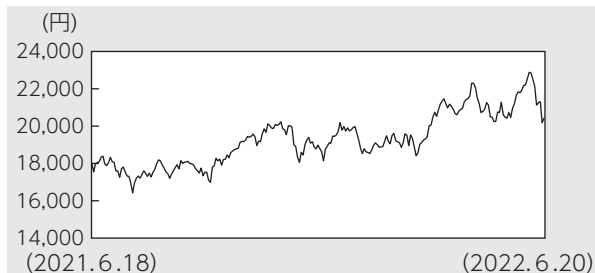
項目	当期末
	2022年12月19日
純資産総額	27,057,053,162円
受益権総口数	26,112,960,611口
1万口当たり基準価額	10,362円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,110,937,309円、同解約元本額は1,611,562,911円です。

組入ファンドの概要

[米国小型バリュー株マザーファンド]（計算期間 2021年6月19日～2022年6月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

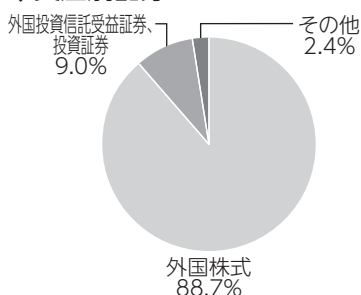
銘柄名	通貨	比率
WHITE MOUNTAINS INSURANCE GROUP LTD	アメリカ・ドル	4.5%
EQUITY COMMONWEALTH	アメリカ・ドル	3.9
FOUR CORNERS PROPERTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.0
KEMPER CORP	アメリカ・ドル	3.0
GLOBE LIFE INC	アメリカ・ドル	2.9
EASTERN BANKSHARES INC	アメリカ・ドル	2.8
FEDERATED HERMES INC	アメリカ・ドル	2.7
GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO	アメリカ・ドル	2.6
PRIMERICA INC	アメリカ・ドル	2.5
NORTHERN OIL AND GAS INC	アメリカ・ドル	2.5
組入銘柄数	61銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

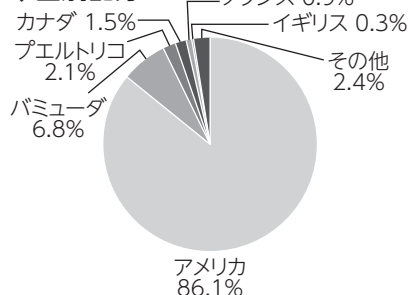
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	58円 (50)	0.298% (0.258)
(投資証券)	(8)	(0.040)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用 (その他)	5 (5)	0.026 (0.026)
合計	63	0.325

期中の平均基準価額は19,286円です。

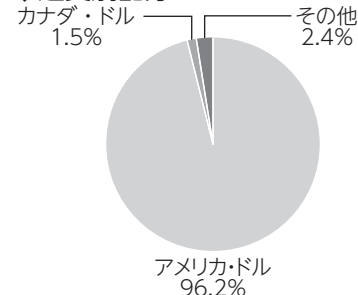
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●Russell 2000 Valueインデックス

Russell 2000 Valueインデックスはラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

